

安全データシート

改訂日:2025年3月3日

1. 製品及び会社情報	
製品名	D-グルタミン酸
推奨用途	試験研究用
会社名	米山薬品工業株式会社
住所	大阪市中央区道修町2丁目3番11号
電話番号	(06)6231-3555(大阪・本社) (03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田) (052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島) 29441
整理番号	
2. 危険有害性の要約	
GHS分類	分類の基準に該当しない。
ラベル要素	
絵表示又はシンボル	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし
3. 組成、成分情報	
化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名	D-グルタミン酸
別名	-
化学式又は構造式	C ₅ H ₉ NO ₄
化学物質を特定できる一般的な番号	CAS RN:6893-26-1
成分及び含有量	98.5% 以上
官報公示整理番号(化審法、安衛法)	(9)-1573
4. 応急措置	
吸入した場合	鼻孔を多量の水で洗い、うがいをする。必要ならば医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	汚れた衣類や靴等を脱ぎ、製品に触れた部分を水で洗い流した後、石鹸を用いて十分に洗浄する。
眼に入った場合	速やかに清浄な水で最低15分間の洗浄を行い、医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	速やかに医師の手当てを受ける。食品添加物にも指定されており、有害性は低いと思われる。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状	該当情報なし。
応急処置をする者の保護	該当情報なし。
医師に対する特別注意事項	該当情報なし。
5. 火災時の措置	
適切な消火剤	粉末、泡、炭酸ガス、水。
使ってはならない消火剤	該当情報なし。
特有の危険有害性	該当情報なし。
特有の消火方法	該当情報なし。
消火を行う者の保護	消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置	作業の際には適切な保護具を着用し風上から作業して、風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項	適切な保護具を着用する。 流出したもの、又は洗浄した水が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化方法・機材	該当情報なし。
二次災害の防止策	粉塵が飛散しない方法で回収した後、水で十分に洗浄する。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策(局所排気・全体換気)	高温多湿の雰囲気を避け慎重に扱う。 局所排気装置を設置する。
安全取扱い注意事項	容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な扱いをしない。
接触回避	目、皮膚及び衣類に触れないように適切な保護用具を着用する。
衛生対策	取り扱い後はよく手を洗うこと。
保管	
技術的対策	該当情報なし。
適切な保管条件	直射日光を避けて、換気のよい冷所に保管する。強酸化物質との接触を避ける。
混触危険物質	該当情報なし。
容器包装材料	ポリプロピレン、ポリエチレン。
8. ばく露防止及び保護措置	
管理濃度	未設定
許容濃度等	
日本産業衛生学会	未設定

ACGIH 濃度基準値	未設定 8時間: 未設定 短時間: 未設定
設備対策	取扱いについては、できるだけ密閉化を行うか、局所排気装置を使用する。作業場近くに手洗等の設備を設ける。
保護具 呼吸器の保護具 手の保護具 眼の保護具 皮膚及び身体の保護具	防塵マスク又は簡易防塵マスクを着用する。 ゴム手袋を着用する。 ゴーグルを着用する。 作業着を着用する。
9. 物理的及び化学的性質 物理状態 色 臭い 融点/凝固点 沸点又は初留点及び沸点範囲 可燃性 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 引火点 自然発火点 分解温度 pH 動粘性率 溶解度 n-オクタノール/水分配係数 蒸気圧 密度及び/又は相対密度 相対ガス密度 粒子特性	結晶又は結晶性の粉末 白色 無臭 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 224~225℃ 該当情報なし。 該当情報なし。 8.88mg/mL (25℃) 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。
10. 安定性及び反応性 反応性、化学的安定性 危険有害反応可能性 避けるべき条件 混触危険物質 危険有害な分解生成物	通常取り扱いに於て安定である。 該当情報なし。 日光、高温、多湿、高積。 強酸化物質 該当情報なし。
11. 有害性情報 急性毒性 皮膚腐食性・刺激性 眼に対する重篤な損傷・刺激性 呼吸器感受性又は皮膚感受性 生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性 特定標的臓器・全身毒性-単回ばく露 特定標的臓器・全身毒性-反復ばく露 誤えん有害性	該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。
12. 環境影響情報 生態毒性 残留性・分解性 生態蓄積性 土壌中の移動性 オゾン層への有害性	短期(急性): 該当情報なし。 長期(慢性): 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
13. 廃棄上の注意 化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。
14. 輸送上の注意 国連番号 品名(国連輸送名) 国連分類 容器等級 輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策 国内規制がある場合の規制情報 陸上輸送 海上輸送 航空輸送 応急措置指針番号	— — — — 運搬に際しては容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。密閉容器とする。その他法令に基づく。 該当しない。 消防法の規定に従う。 船舶安全法の規定に従う。 航空法の規定に従う。 —
15. 適用法令	

化学物質管理促進法(PRTR法)
毒物及び劇物取締法
労働安全衛生法
消防法

指定化学物質に該当しない。
毒物及び劇物に該当しない。
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。
危険物に該当しない。

16. その他の情報
引用文献

化学大辞典 共立出版
NITE-CHRIP(製品評価技術基盤機構HP)
National Institutes of Health (アメリカ国立衛生研究所)

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。